

区政会議でいただいたご意見への対応方針

番号	年月	区政会議委員意見	対応方針	分類
令和3年度第2回区政会議（令和3年12月21日開催）				
1	R3.12	<p>【区政会議】</p> <p>区政会議で取り扱う範囲が広すぎて意見交換が難しい。もっと興味を持ってもらいやすい内容を取り扱えばいいのではないかと。（石川委員）</p>	幅広い分野からご興味のあるテーマについて自由にご意見をいただけるようにしつつ、区役所から特にお聴きたい項目を提示するなどして、意見交換しやすくなるように努めます。	②
2	R3.12	<p>【情報発信】</p> <p>若い人は自分から情報を取りに行くが、年配の方はなかなか自分から情報を取りに行かないし、取りに行く手段もわかっていない。インターネットも大事だが、広報紙など紙の情報を渡すことも大事である。（橋本委員）</p>	区の情報については、ホームページだけではなく、広報紙「天王寺」を作成し、新聞折込、区内施設への配架、希望者への送付を行っています。重要な情報などについては、広報板やSNSでの発信にも努めています。今後も引き続き、デジタルとアナログの両方を活用しながら区民の皆様に情報が行き届くよう努めてまいります。	①
3	R3.12	<p>【情報発信】</p> <p>ホームページのトップページは良いが、情報量が多すぎて調べたい情報になかなかたどり着けない。必要な情報にたどり着きやすく、意見も書き込みやすくするなど工夫してほしい。（三輪委員）</p>	各コンテンツの名称や分類等を工夫することで、できるだけ情報が見つけやすくなるように努めてまいります。また、区政・市政へのご意見等については、トップページの下部（フッター部）「市やホームページへのご意見」から送信画面に移動することができません。	⑤
4	R3.12	<p>【情報発信】</p> <p>天王寺区には可愛くて印象に残るマスコットキャラクターがあるので、こどもたちへのPRにもっと活用してほしい。たとえば、通学路で、ももてんちゃんと一緒にチラシを配るなどすると、児童も区のことに関心を持つのではないかと。（辻本委員）</p>	区のマスコットキャラクター「ももてんちゃん」は、これまで「子育てあい愛フェスティバル」や「なにわ人形芝居フェスティバル」などで、子どもが多く集まるイベントに参加しています。今後も区の魅力をPRする際に積極的に活用を図ってまいりたいと考えています。	⑤
5	R3.12	<p>【教育】</p> <p>地域の将来の担い手を育成する視点で言えば、ジュニアクラブにもっと予算を回してほしい。（石野委員）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の活動状況、会員数を勘案すると、活動に必要な経費は確保できていると考えています。 ・現在、会員が話し合っ自分たちの意見を活動に反映させる取組みを進めており、内容により経費が必要となる場合や、会員数の急増により活動経費が不足する場合などには対応を検討したいと考えています。 ・ジュニアクラブ運営委員のご意見をお伺いしたうえで、「天王寺の歴史にふれよう」や「留学生との交流」などの体験プログラムを、年間5回程度実施しています。参加者のご意見を踏まえたうえで、事業の構築に必要な予算措置については検討することとしています。 	⑤
6	R3.12	<p>【子育て】</p> <p>子育てスタート応援券は、2歳までの使用なら「教育分野」に利用しようという発想になりにくい。4、5歳ぐらいまでにならないと「教育に使う」とはならないのではないかと。子育てスタートの応援としてクーポン券ではなくおむつやミルク、予防接種などに困っているお母さんたちの応援になるような見えやすい形で継続できないか。（飛田委員、石野委員、岡崎委員、大野委員）</p>	子育てスタート応援券は、幼児期以降の各ご家庭での教育投資の促進等を図るために、子育てをスタートしたばかりの世帯を対象に2歳までを期限として、ご利用いただけるクーポン券です。この間、サービス提供事業者の拡充など都度充実を図ってききましたが、利用の用途では、任意の予防接種に用いられることが多くなっており、当初の目的であった教育投資のきっかけとなりうる体験・教育型の事業の利用は少なくなっています。一方、子どもや子育て世帯を取り巻く課題は多様であり、区として新たな取組を進める中でこれまで重点を置いていなかった課題も明らかになりつつあります。この間の取組を踏まえ、子育てスタート応援券の交付事業を含め、今後の子育て支援施策のあり方について見直しを検討する必要があると考えております。	⑤
7	R3.12	<p>【子育て】</p> <p>子育てスタート応援券をやめて、学力に課題のある児童生徒向けのために予算を使えばいいのでは。天王寺区は比較的裕福な世帯が多いが、一定学力に課題のある児童生徒はいるので、そのような子どもたちに重点的に何かできないか。（石野委員）</p>	天王寺区では、中学生の基礎学力および学習習慣の形成を図るため、区内在住の中学生を対象として少人数指導の「Z会グループによる天王寺塾」を開講しています。なお、本事業では月額1万円の塾代助成カード（所得制限あり）の利用により、自己負担なく受講することが可能です。	⑤
8	R3.12	<p>【子育て】</p> <p>子育てスタート応援券はあまりニーズがなかったのでしょうか。逆に言えばニーズのある方にお金を使うようにして、親と子の関係に重きを置いて、安心して子育てできる支援にしていきたいかと。（植田委員）</p>	区内の就学前児童数や特別支援学級に通う生徒数、当区家庭児童相談員による相談件数は年々増加しており、大阪市が保護者に行った調査では、「子育てのストレスからこどもにきつくあたってしまう」などの割合が高くなっています。こどもの言葉の遅れが気になるなどの相談も多く言語聴覚士による専門相談など、子育てに不安を抱える方々へのサポートとなる各種プログラムなどを実施してまいります。	②
9	R3.12	<p>【子育て】</p> <p>子育て情報アプリ「ぎゅっと！」が見にくい。（大野委員）</p>	タイムリーに子育て情報を発信できるツールとして、システム上可能な範囲で見やすいアプリとなるよう検討してまいります。	⑤

10	R3.12	【子育て】 自身の経験から、子どもが産まれてから保健師が訪問してくれて、いろいろなことで相談にのっていただいたことが本当に心強かった。やはり対面でのケア(直接目に見える支援)が一番大事だと思う。そういった分野に予算を使うほうがいいのではないか。(岡崎委員)	天王寺区では、妊娠、出産や子育てに関して、その方に必要な支援につながるように、地区担当保健師を配置し顔の見える関係づくりを構築し、定期的な支援を継続的に実施できるよう取組みを推進しているところです。	①
11	R3.12	【子育て】 ひとり親家庭のことで言えば、このコロナ禍で苦しんでいる家庭が多くあると思う。区役所で専門的な相談ができるようになればいい。様々な問題を聞いてあげることで助かるひとり親がいるということを伝えたいし、聞いてくれる人がいることが大事である。(平田委員)	ひとり親家庭の方に対し、就職や自立支援に関する制度などの情報を提供するとともに、きめ細かな相談支援を行う「ひとり親家庭サポーター」による窓口を開設(火曜日・木曜日)しています。	①
12	R3.12	【子育て】 発達障がいのあるお子さんについて、地域、学校と保護者との連携があまりできていないのではないか。(石野委員)	子どもが多くの時間を過ごす学校、保健福祉の支援制度等の窓口である区役所、地域が連携して、支援を必要とする子どもや子育て世帯をサポートしていくために「大阪市子どもサポートネット」に取り組んでいます。区役所と学校間で発達障がいのあるお子さんも含め、学習状況などで気になることについても情報共有を図る会議を行い、状況に応じた支援計画をたてて適切な支援につなげているところです。	①
13	R3.12	【見守り】 要援護者の見守りネットワーク強化事業の説明を丁寧にしてほしい。(安田委員)	要援護者見守りネットワーク強化事業については、区より天王寺区社会福祉協議会(以下、区社協という)「見守り相談室」に事業を委託しておりますが、区役所、区社協ともに、より一層丁寧な説明を行うよう努めてまいります。	①
14	R3.12	【見守り】 今後、高齢者はどんどん増えていくので、見守るボランティアの数を増やさないとけない。天王寺区には学校も多く、学生の力も借りれたら助かる。(中野委員)	独居高齢者等見守りサポーター事業については、地域活動協議会からの推薦で主に地域の女性会や民生委員の方々に見守りボランティアとして活動して頂いています。新たなボランティアの開拓につきましては、今後とも区社協と協議、検討を行ってまいります。	①
15	R3.12	【見守り】 マンションの住民に関して防災で安否確認の課題もあるが、マンションで一人暮らしの高齢者については、一般(戸建て等)とは違った取り組みが必要。(藤井委員)	近年マンションでは、近隣との関係性が希薄なため、必要な福祉・介護サービスにつながらず孤立した独居高齢者が増加しています。天王寺区では、日頃より区社協・包括支援センターが区内マンションを訪問し、課題を抱えた高齢者を発見した場合は、すみやかにご連絡、ご相談頂くよう周知活動を行っております。	①
16	R3.12	【健康】 百歳体操を月1、2回しているが、週に1回してほしいとの声もある。有償で講師に来てもらう1回分の予算はあるが、2回来てもらえる予算があれば助かる。もっと体操をする機会を作してほしい。(余部委員)	活動される地域・グループにて、週1回の実施など一層の取組が可能となるように、百歳体操の意義や感染予防の説明など必要な支援を行います。なお、講師については、それぞれの地域の実情に応じて工夫されているところであり、ご理解の程よろしくお願いたします。	③
17	R3.12	【健康】 区が実施している事業は時間帯が朝か昼なので、実施時間帯をずらすことはできないか。夜間なら参加できるが、昼間は参加できないという人もいます。百歳体操は夜間にもしているとのことだが、もっと周知してほしい。(南委員)	健康の保持を目的に実施するがん検診(胃がん、肺がん、乳がん)について、天王寺区保健福祉センターで実施する際は、平日夜間(18:30~)や、土・日曜日(9:30~)にも受付を行っており、受付時間は天王寺区広報紙(4月号)にも掲載しています。今後も、より利用可能な時間帯での事業実施を検討します。	①
18	R3.12	【防災】 天王寺駅前商店街では災害時の帰宅困難者に対する会議を行っているが、天王寺区だけで考えるのではなく天王寺区から他区に帰宅できない方も区・市として助けられるよう考えてほしい。(佐野委員)	大阪市、天王寺区では、特に多くの帰宅困難者の発生が見込まれる主要ターミナル駅(天王寺駅・阿倍野駅、上本町駅・谷町九丁目駅・鶴橋駅)周辺の企業や団体、学校等に協力を呼びかけ、各駅地区帰宅困難者対策協議会を構築し、災害対応の検討や訓練等の取組みを進めています。 区としても、帰宅困難者発生抑制のため「とどまる(一斉帰宅を呼ばない)」思想の周知や、一時滞留スペースの確保など、課題解決に必要な取組を行ってまいります。	②
19	R3.12	【防災】 ・災害救助青年部として活動している。装備を更新したくても費用がなく改善できたらと考える。(大田垣委員) ・また、若い人たちに災害救助青年部の活動を知ってほしい。(栗谷委員)	現在、地域防災リーダー(災害救助青年部)の装備服、ヘルメット等は、新たに委嘱させていただく際に一式を支給しています。長期に渡り地域防災リーダーとして活動いただいている方も多いことから、退任時に状態のいい装備の返却も受け付けながら、装備の更新についても対応できるようにしてまいります。 また、災害救助青年部の活動について、天王寺区でもホームページ、Facebookなど、区が有する広報媒体を活用し、様々な機会に情報発信してまいります。	②

20	R3.12	<p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンション防災について、マンション理事会内で防災委員会を結成して独自の取組みを行っているところもあるが、一方、マンションの住人は地域での消防訓練に参加してもらえないことがある。(栗谷委員、佐野委員、泰地委員) ・マンション、特に賃貸マンションは入居者の入れ替わりが多く、防災の啓発が難しい。そこでYouTubeでの防災動画をマンション住民に向けて特に告知に努めてほしい。(佐藤委員) 	<p>天王寺区では区民の85%以上がマンションに居住する状況をふまえ、マンション住民に向けた防災のための取組を強化しています。</p> <p>区が関わる地域での訓練について、マンションと連携し、多くのマンション住民の方にも参加していただけるものとなるような手法についても検討してまいります。</p> <p>また、地域における日頃からのつながりづくりが災害などいざという時に助け合える関係にもつながることから、マンションにおける自主防災組織づくりや、自治会・町会加入の呼びかけも行ってまいります。</p> <p>マンション住民に向けた、当区で作成したYouTubeでの防災啓発動画の周知についても行ってまいります。</p>	②
21	R3.12	<p>【防犯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラについて、各町会は町会ごとで相談して設置している。(白井委員) ・設置することを看板で示すことで犯罪の抑止力になり件数の減少につながる。安心にもつながる。広報紙でも告知のため活用してほしい。(栗谷委員・泰地委員) ・また、各地域で防犯に携わる人同士、カメラの場所を共有した方がよい。(櫻井委員) 	<p>区役所において、防犯カメラを設置する際は看板もセットで設置しており、街頭犯罪の抑止効果を高めています。また、防犯カメラの設置場所については、区ホームページで公開しています。 https://www.city.osaka.lg.jp/tennoji/page/0000241277.html</p>	①
22	R3.12	<p>【マナー啓発】</p> <p>人通りの多い場所には、たばこの吸い殻が多く落ちている。禁煙努力の観点からもマナー啓発できないか。(泰地委員)</p>	<p>天王寺区では令和2年2月1日からJR天王寺駅周辺を路上喫煙禁止地区に指定しています。</p> <p>禁止地区以外であっても、「たばこ市民マナー向上エリア制度」を設け、地域の方々と連携した啓発活動に取り組んでいます。今後とも、喫煙者の喫煙モラルの向上、マナー定着に向けた普及啓発に所管局の環境局とともに取り組んでまいります。</p>	⑤
23	R3.12	<p>【区の魅力発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天王寺区には学校や歴史など魅力的なものが多い。たとえばなんばの黒門市場などは用事がなくてもふらっと立ち寄れる。天王寺区にもふらっと立ち寄れるスポットをつくってはどうか。たとえばマスコットキャラクターを使ってこどもをターゲットにすると、必ず親御さんも着いてくる。(舒委員) ・天王寺区にはいいところがたくさんある。まだまだ区民も知らない情報があふれている。たとえば天王寺かぶらも流行るはず。ももてんちゃん等のマスコットキャラクターを使って魅力発信をするのもいい。魅力発信する際はどのように何かしらの成果物を目標にした方がいい。若い人が関心を持てるよう、区に豊富な企業や学校も巻き込んで取り組んではどうか。(橋本委員) 	<p>区内にはさまざまな魅力あふれるスポットがあり、区内外に広く知っていただけるよう、さらなる情報発信に努めてまいります。</p> <p>また区のマスコットキャラクター「ももてんちゃん」は成人の日記念のつどいや区民まつりなどで着ぐるみが活動する他、「上町台地周遊マップ」などの広報印刷物に広く活用しています。今後も区の魅力をPRする際に積極的に活用を図ってまいりたいと考えています。</p>	⑤
24	R3.12	<p>【コミュニティ育成】</p> <p>区主体でスポーツフェスタを実施し、予算も出してもらっている。幅広く参加いただいており、毎月してほしいとの声もある。年1回のところ、せめて年2回できたらいいなと思っている。(余部委員)</p>	<p>天王寺区では、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できる区民主体のスポーツ・レクリエーション活動を通じて、区民の交流の促進を図る場とすることをめざしてスポーツフェスタを実施しています。今後もよりいっそう促進されるよう取り組んでまいりたいと考えています。</p>	③

※分類

- ①当年度(3年度)において対応 ②4年度運営方針に反映または4年度に対応予定
 ③4年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可
 ⑤その他